



水

月



つ 屋がの 様 送 こと あり

その 様 へ 送 あり こと あり  
それ 亦 様 あり こと あり  
よ あり こと あり

つ 屋の こと あり こと あり

つ 屋の こと あり こと あり

つ 屋の こと あり こと あり

つ 屋の こと あり こと あり

つ 屋の こと あり こと あり

つ 屋の こと あり こと あり

あきまの... けいりやうの...  
あきまの... けいりやうの...  
あきまの... けいりやうの...

ありまの... テニノ...  
ありまの... テニノ...  
ありまの... テニノ...

あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...

あきまの... 定都...  
あきまの... 定都...  
あきまの... 定都...

あきまの... 後...  
あきまの... 後...  
あきまの... 後...

あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...

あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...

あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...

あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...

あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...

あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...

あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...

あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...  
あきまの... 我朝...

とてあまのいささるるあめ

一 玉の帯やめく 花まればあまのふ

一 花まればあまのふ 又新玉をく

一 玉の帯やめく 花まればあまのふ

一 人のいそくはし 人かすことぬを

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下

一 夏のあまの海 夏の連海下



一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 山田のやうに

一 又くはとてと 中れおしころふ  
とて又のちの申にあまを  
あはれなきしとて申す  
いかにあはれぬとてをい

一 ころふ 八やうはんりくま  
ふれぬとて申す 南流みか  
はまくと申す ころとよむとて  
いふらぬゆかりとて申す  
いふらぬとて申す

一 ころふのち 林市をい

一 ころふのち 命なきとて

一 ころふのち 十一月の辰  
日とて 佐藤屋のソウラをい  
ころふとて

一 ころふのち 7のてい

一 ころふのち 三つ葉をい

一 ころふのち

一 ころふのち ともあつとて

一 ころふのち 小松林原のちをい  
ころふとて

一 ころふのち ころふのちをい

一 ころふのち 同のちをい  
ころふとて

一 ころふのち ころふのちをい  
ころふとて

一 ころふのち ころふのちをい  
ころふとて

一 ころふのち ころふのちをい  
ころふとて

一 ころふのち ころふのちをい  
ころふとて





一 杉ノ木ノ葉ノ色ノ赤クシテ  
其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ

一 赤クシテ其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ  
其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ

一 赤クシテ其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ  
其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ

一 赤クシテ其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ  
其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ

一 赤クシテ其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ  
其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ

一 赤クシテ其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ  
其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ

一 赤クシテ其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ  
其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ

一 赤クシテ其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ  
其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ

一 赤クシテ其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ  
其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ

一 赤クシテ其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ  
其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ

一 赤クシテ其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ  
其ノ葉ノ裏ノ面ニシテ

おつらおつらも木のしんまき  
めもあふるまめまもまま  
又せしさいりもろりりりり  
アリンカキトささるれうま  
ささるーゆふふふ人かちりりり  
一かりおあるにさしりり

一まのまのあささちりりりり  
ささいまもまもまま  
あさちりりりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり

一他のささりりりりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり

一まのまのあささちりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり

一まのまのあささちりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり

一まのまのあささちりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり

一まのまのあささちりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり

一車中  
まのまのあささちりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり  
ささいのささいりりりりりり

一 竹ノ神ニ時左在行リテ  
ニシシヨリ是なるるるるる  
ハルリテハカハカハカ  
一 初ノキクノカキカキカ  
カキカキカキカキカ  
カキカキカキカキカ  
カキカキカキカキカ

一 一ノカキカキカ  
カキカキカキカキカ

一 一ノカキカキカ  
カキカキカキカキカ

一 一ノカキカキカ  
カキカキカキカキカ

一 一ノカキカキカ  
カキカキカキカキカ

一 一ノカキカキカ  
カキカキカキカキカ

一 一ノカキカキカ  
カキカキカキカキカ

一 一ノカキカキカ  
カキカキカキカキカ

一 一ノカキカキカ  
カキカキカキカキカ

一 一ノカキカキカ  
カキカキカキカキカ

一 一ノカキカキカ  
カキカキカキカキカ

一 一ノカキカキカ  
カキカキカキカキカ

〆のりていふまゝに記す  
 〆のりていふまゝに記す  
 〆のりていふまゝに記す  
 〆のりていふまゝに記す  
 〆のりていふまゝに記す  
 〆のりていふまゝに記す  
 〆のりていふまゝに記す  
 〆のりていふまゝに記す  
 〆のりていふまゝに記す  
 〆のりていふまゝに記す

中右記 為休記

此條は家  
 土記

〆のりていふまゝに記す

〆のりていふまゝに記す

〆のりていふまゝに記す

〆のりていふまゝに記す

この記は... の...  
...の...  
...の...  
...の...  
...の...  
...の...  
...の...

中右記  
五休記

世宗新 三條西家  
土記

世宗新 と下

高家昇 と下

藤原記 右甲納言

藤原記

藤原記

藤原記

藤原記

藤原記

(要林)

Handwritten text in a cursive script, likely Japanese. The text is arranged in several vertical columns. The characters are dark and somewhat faded, with some ink bleed-through from the reverse side of the page. The writing appears to be a personal note or a short letter.

The right page of the document is heavily obscured by faint, illegible markings and ink bleed-through from the reverse side. The paper is aged and shows signs of wear, including small dark spots and irregular smudges. The overall appearance is that of an old, possibly damaged manuscript or document.

あまのつらさるゝまふりまふり  
うらふらふらふらふらふらふら  
あまのつらさるゝまふりまふり

作職千五百  
可伝集

後石原記  
集福記

二本記  
明記

解書類行辨以辨集  
要抄

あまのつらさるゝまふりまふり  
うらふらふらふらふらふらふら

あまのつらさるゝまふりまふり  
うらふらふらふらふらふらふら

あまのつらさるゝまふりまふり  
うらふらふらふらふらふらふら

あまのつらさるゝまふりまふり  
うらふらふらふらふらふらふら





しんがふりてはさしなひ  
しんがふりてはさしなひ

しんがふりてはさしなひ  
しんがふりてはさしなひ

しんがふりてはさしなひ  
しんがふりてはさしなひ

如歌

しんがふりてはさしなひ  
しんがふりてはさしなひ

しんがふりてはさしなひ  
しんがふりてはさしなひ

しんがふりてはさしなひ  
しんがふりてはさしなひ

しんがふりてはさしなひ  
しんがふりてはさしなひ

しんがふりてはさしなひ  
しんがふりてはさしなひ

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

一 〇〇〇〇〇

